



令和 2 年度 新卒求職者用

# つるま幼稚園のしおり



つるま幼稚園は『子ども・子育て支援新制度』による  
施設型給付の『私立幼稚園』です

ど  
う  
ぞ

よ  
ろ  
し  
く  
！

このしおり』は、当園の教育をご理解いただくための資料として「入園のしおり」を元に求職者用として作ったものです。

当園は幼児教育(心を育てる教育)の実践から、子どもの持つ潜在能力を大切に導き出し、子どもが子ども本来の活動である『遊び』を通していろいろな学習を積み重ねられるよう配慮しています。

感性豊かな子どもの可能性は無限です。その能力は柔軟であり、強い吸収力を持っています。この様な子どもの特性を大切にし、心が弾み、笑顔がいっぱいあふれ、夢が大きく膨らむ幼稚園生活を目指します。良き思い出作りには光り輝くときめきが必要です。そのときめきを持ったつるま幼稚園と共にスタートしましょう。



## 子どもの成長のために考えなければならないこと



子どもを見る時、その子の特性と、他の子どもとの関わりを通して  
みた特性の二つの面から子どもを理解することが必要です。その上  
に立って豊かな人間関係を土台とした人格形成を目指します。

豊かな人間関係は子ども同士の関わりを積み上げていって始めて築けるものです。一人一人の子はみな『思い』を持って関わります。たとえば、自分の思いと他児の思いが食い違くとそれがケンカになります。その結果自分とは違う思いを持った子がいることを知り、自分のとは違うもう一つの思いを知り、心が広がります。多くの関わりがより心を豊かに広げて行きます。幼稚園はその関わりを広げるため「あそび」という「学習方法」により教育が進められます。

## 幼児にとっての遊びは学習の手段

心を育てることが幼稚園教育の基本であると考えます

### 心の発達を見る時の三つのこと

#### 思いやる気持ち(心)

幼稚園教育では共に育ちあうことが大切、他児と  
豊かな交わり持つこと..... **幼稚園教育の基本**

#### 自らやる気持ち(心)

幼稚園教育では子どもの心に潜在する意欲を引  
き出し、伸ばすこと..... **子どもが成長する推進力**

#### がんばる気持ち(心)

幼稚園教育ではひとつのことに取り組み、成し遂  
げることにより、子どもが自らの成長を一つ一つ  
確実に自分のものとして伸びてゆくこと.. **成長のバロメーター**

## 心を育むのは人と人の関わりから

# 友達

『友達』との関わりは子どもが成長してゆく過程で計り知れない数々の事柄を学習させてくれます。人は一緒にいるだけでは友達になれません。次の四つが必要です。

☆ 自分の思いを言える

☆ 相手のことを思いやれる

☆ 共に楽しめる

☆ 自分をコントロールできる

等、言うなれば『自主性・自立性』が必要なのです。子どもが成長して、自分で考え、判断して行動するようになるといっそう友達が必要になり、『自主性・自立性』がますます必要になってきます。ですから、幼児期、幼稚園の生活の中でより多くの人間関係を経験させ、『自主性・自立性』を芽生えさせることが大切なのです。

人が社会で生活してゆくために「人と関わる」ことが如何に大切かは誰でもわかります。子どもの時にその関わりが十分であったなら防げたであろうと思われる事件がニュースになっています。最近是人と人の関わりが持ちづらくなりつつあり、人と人の関わりも薄れつつあります。子どもの時に人と人の関わりの芽を伸ばし、多くの友達を作れる人間に育てることが必要だと思います。

## 友達は成長の糧

多くの人々(仲間)との関わりの積み重ねから、自分の世界がだんだんと広がり、友達作りの芽もどんどん伸びてくると、子どもの目は次に「自分の周り」(近所の子、知り合いの大人、友達のお母さん等)へと広がります。子どもの成長の過程でもうひとつ大切なことは子どもを取り巻く大人の『人と人の輪(和)』です。

## 人と人の輪(和)

幼稚園で出来た友達の関わりをより強く、より広げるにはお母さん同士の友達、知り合い、としての輪が大きな力となります。また、子どもは大人の行動を手本に成長してゆきますから、友達作りの手本を示してあげる必要もあります。『輪(和)』が出来ることによって安心と信頼が広がります。

人の輪と共に広がる 幼稚園の生活

お父さん、お母さん、考えて見ましょう。わが子が幼稚園の生活でどの様に育ってほしいのかを.....

つま幼稚園は60余年の教育の積み重ねを基にしてみなさまのお子さんの成長過程の一時期をお手伝いします。

## ☆☆☆☆☆ 幼児期に大切なことを大切に ☆☆☆☆☆

### ちょっと気になっていること

最近、子どもや関係のない人に危害を加える事件やストレスの蓄積から暴力に走るといった事件を耳にします。これらのことを考えてみるとそれぞれに事情はあるにせよ、起こした人々に共通することがあるように思います。それは自らを律する力(自律心)が今までの成長過程で十分に身に付いていないのではないかということです。自律心は幼い時に芽生えさせないと中々身に付きません。

### 自律心はどのように育まれ養われていくのでしょうか

- ① 自ら興味関心を持ち(自意識の芽生え)、周りから言われてするのではなく、自分の思い(意思)です。そうすると自分を自覚できるようになる。
  - ② 他児(人)と関わることで他児(人)に信頼感を持ち、信じられる様になる。(人間関係の芽生え)この関係の積み重ねにより、自分に自信が持てるようになる。
- ② さらに関わりを重ねることでやって良いこと(人が喜ぶこと)と悪いこと(人が嫌がること)が自分の力でわかるようになり、人との関係の中で協調性や我慢をすることなど自分の心(気持ち)をコントロールできるようになる。(自律心の芽生え)

自分を律する力は自信を持ち他児(人)と関わることで育まれ、養われるのです。家庭生活や教育の場で如何に子どもの思いを大切にしなければならぬかご理解いただけたと思います。

つま幼稚園は「教え込みの教育」はいたしません。幼児が持つ自ら育とうとする力にたくさんの刺激を与え、焦らず成長を育みます。お子さんの成長をつつま幼稚園と一緒に楽しみませんか。

子どもの成長を見るのは何よりも増して心しみ うれしいものですね

## ☆PTAの活動

つるま幼稚園に通う園児を7地区に分け、各地区から役員を互選し運営しています。(会費月額H31年度500円) 園の一室「PTAルーム」を拠点として、各種趣味の会、講演会など企画しています。事業を通してお母さん方の輪(和)を広げて行きます。子育てのヒントも得られます。PTAの活動は一人一人のお母さんのためにあります。お子さんと共に幼稚園の生活を楽しんでください。



## ☆年間の主な行事

- |    |                                   |     |               |
|----|-----------------------------------|-----|---------------|
| 4月 | 始業式、入園式                           | 9月  | 災害時降園訓練       |
| 5月 | 家庭訪問、内科検診、尿検査<br>春の小運動会           | 10月 | 秋の運動会         |
| 6月 | 歯科検診、地引綱遠足                        | 12月 | 個人面談、にじの会、餅つき |
| 7月 | クラス懇談会、希望個人面談<br>年長大山合宿(一泊)、うちわの会 | 2月  | 年長卒業遠足        |
| 8月 | 夏期保育、夕涼み会                         | 3月  | ロケット会、卒業式、終業式 |

※毎月あるもの 誕生日会、おにぎりデー(年7回)

## 家族みんなで楽しむ 園行事

### ☆沿革

昭和31年 4月 9日 個人立幼稚園として開園。(認可 同年 5月31日)

昭和49年10月17日 園地、園舎を無償寄付し、学校法人設立認可を受け、  
『学校法人 実生学園 つるま幼稚園』となる

「実生」(みしょう)とは、木々の実が生れ落ち、自らの力で芽を出し育った若木をいいます。幼児が自らの力と周りの援助によりすくすくと育ってほしいとの願いが込められている。

昭和55年 9月 創立25周年記念誌を発行。

平成27年 4月 施設給付型の幼稚園となる。

平成31年 3月現在 卒業生4,734名。

## ☆つるま子育て電子ネットワーク

『つるま幼稚園のホームページ』を核として、子育て支援の  
輪を広げたいと思います。

ホームページを一度ご覧ください

つるま幼稚園ホームページURL <http://www.tsuruma.ed.jp>

ホームページの内容

- \*園の紹介 (保育、行事の様子や教育の考え方など)
- \*子育て支援 (つるま子育てプレイルームの実施  
(子育て・教育相談



子育てでは知恵を出し合い 協力し合って  
出来ること、子どもの成長を共に  
楽しみましょう

## ☆教育時間・登降園について

- \* 登園時間..... 徒歩通園の方は8時45分～9時までの間に
- \* 降園時間..... 14時にお迎えに来て下さい。  
(水曜日は11時30分です)
- \* 通園バス..... 下記の時間よりコースに分けて運行します。

登園時 園発 8時00分

降園時 園発 14時00分

(水曜日は11時30分)

※コース・時間は基本的に一年間変わりません。



## ☆希望給食

給食希望の注文を受けてお弁当を用意します。実施日は月、火、木、金曜日です。

\*お弁当の内容 幼児向の手作りのお弁当です。事前にメニューをお渡しします。

\*お弁当の代金 1食 400円 (H31年度)

\*利用方法 「お弁当依頼袋」に代金を入れ、  
・徒歩通園の方は登園時に事務室へ  
・バス通園の方は添乗の職員へお届けください。

※お弁当の受付は9時30分までです。

※希望給食を利用予定の方は事務室に申し出て「お弁当依頼袋」を受け取ってください。

## ☆預かり保育

保育終了後ご希望により18時までお子さんをお預かりします。お子さんが安全に自由に遊べ、できるだけ家庭生活に近い過ごし方を心がけています。

\*保育者 専任の幼稚園教諭

\*実施日 主に行事日を除く保育日。詳細は毎月の「保育予定表」をご覧ください。

\*保育時間 保育終了から18時まで(早めの降園は可)。必ず時間までにお迎えをお願いします。 半日保育の日はお弁当を持参して下さい。

\*預かり保育料(平成29年度)

一日保育の日	14時～16時まで	500円
	～17時まで	700円
	～18時まで	900円

半日保育の日	11時30分～15時まで	700円
	～16時まで	900円
	～17時まで	1,100円
	～18時まで	1,300円

\*申し込みの方法 「預かり保育依頼袋」に預かり保育料を入れ  
・徒歩通園の方は登園時に事務室へ  
・バス通園の方は添乗の職員へ お届けください。

※預かり保育の受付は9時30分までです。

※預かり保育を利用希望の方は事務室に申し出て「預かり保育依頼袋」を受け取ってください。

※9時30分までに希望者がいない場合は、その日の預かり保育はありません。

\*迎えの方法 預かり保育終了後の降園は園までお迎えにきていただきます。  
(通園バスは運行いたしません)





# 求 人 票

求 人 者	園 名	つるま幼稚園	設 置	学校法人
	所 在 地	〒242-0005	法人名	実生(みしょう)学園
		神奈川県大和市西鶴間3-7-19	設置年月	S31年 4月
		電話 046-261-0651 FAX 046-264-8245	理事長名	山 口 繁 美
	職 員 数	教員 6 名 ・ 他 4 名	在園児数 (現在)	5歳児 36名(2クラス) 4歳児 25名(1クラス) 3歳児 21名(1クラス) 合計 82名(4クラス)
備 考	H27年度より「子ども・子育て支援新制度」による施設型給付の幼稚園です。			

採 用 条 件 等	職 種	正規職員(教諭)	令和 2 年度(令和元年度実績)		
	採用予定数	2 名	初 任 給	基本給	189,000円
	応募条件	新卒者		調整手当	10,000円
	通勤条件	通勤時間 60分程度 (公共交通機関) 自宅外通勤可、車通勤不可		担任手当	5,000円
				早朝手当	3,000円
	勤務時間	8:00~17:00(基本)		処遇改善手当	5,000円
	休 日	・ 土日、祝祭日、夏休み 10日、 年末年始10日位 (年休の他) ・ 土曜出勤 打ち合わせ等3日(年間) 行事の場合は振替休日設定・年間出勤日数219日(R元年度予定)		合 計	212,000円
		*その他手当(行事、精勤) *通勤手当(全額支給) *処遇改善実績 H27~H31年度に <sup>へ</sup> 「スアッ <sup>°</sup> と賞与UPをしました。			
		新卒、担任での予想年収額 3,253,000円			
社 会 保 険		賞 与 (基準本俸)	年間4.5ヶ月(予定) (初年度3.75ヶ月)		
備 考		定期昇給	年1回		
		私学共済・労災・雇用・交通傷害・退職金財団 *勤務時間は「年間変形労働時間制」を採用。			

採 用 試 験 等	提出書類	自筆履歴書 成績証明書 資格取得見込証明書 健康診断書(写可)			
	提出方法	持参、郵送共に可	見 学	随 時(事前連絡要)	
	応 募	随時(採用人数に達し次第終了)		試験日	随時(相談)
	場 所	つるま幼稚園			最寄の交通機関からの略図 江ノ島線鶴間駅下車 徒歩7分 改札を出た所の地図 ホームページ内地図 参 照
	内 容	書類選考、筆記、面接、実技(ピアノ・製作)			
	携 帯 品	筆記用具、上履き			
結果通知	郵送(本人及び学校) ※ 試験後5日以内				
備 考					



子ども達がおおらかに、伸びやかに、健やかに育つことを願い、人と人の輪・和をテーマの正円に込め、楕円には父母の皆様が温かく見守ってくださる姿を表現しています。

つるま幼稚園の保育に対する考えを

シンボライズ化しました。

